

【参考7：アンケート結果】

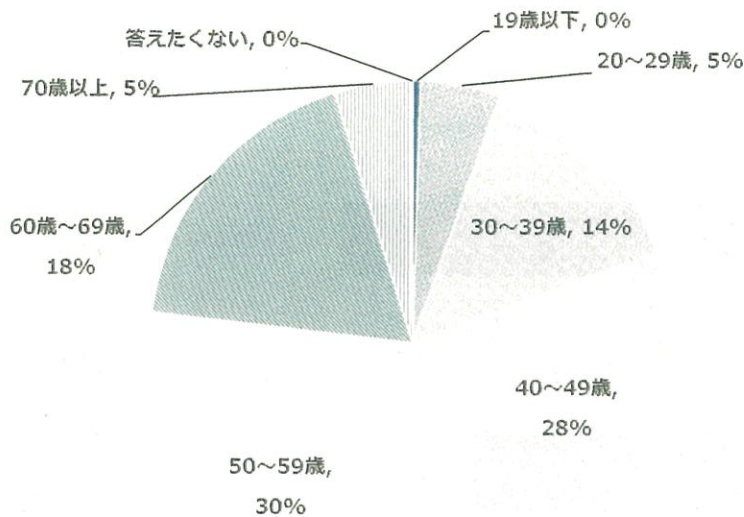
新型コロナウイルス感染症への対応・ワクチンについてのアンケート調査結果

実施期間：令和4年6月17日～令和4年6月23日  
 アンケート方法：LINE「長野県新型コロナ対策パーソナルサポート」で配信  
 配信数：159,250人  
 回答者数：11,257人  
 回答率：7.1%

※注意事項：

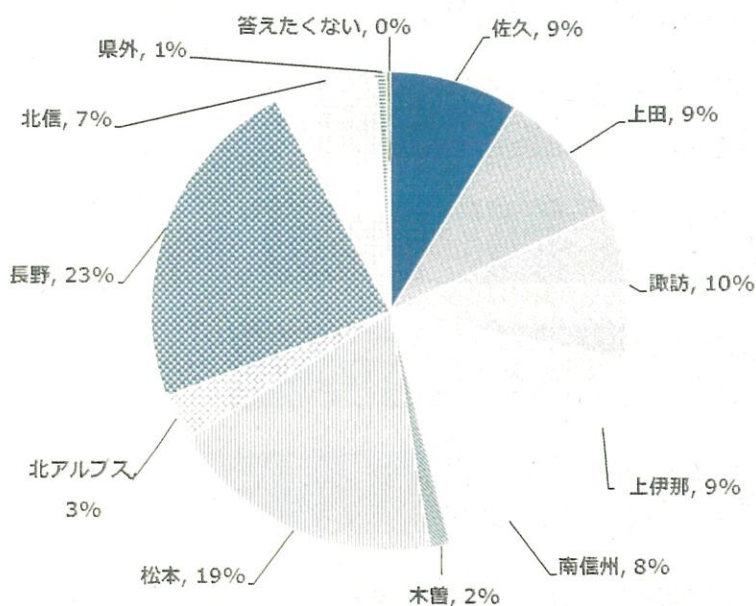
- ・グラフのうち、割合が少ないものについてはパーセント表示を省略している部分があります
- ・未回答者が存在する設問があるため、グラフの合計割合が100%とならないものがあります

○年代



	人数	割合
10～19歳	56	0.5%
20～29歳	559	5.0%
30～39歳	1,561	13.9%
40～49歳	3,097	27.5%
50～59歳	3,378	30.0%
60～69歳	2,059	18.3%
70歳以上	534	4.7%
答えたくない	13	0.1%
合計	11,257	100.0%

○お住まいの地域



	人数	割合
佐久	986	8.8%
上田	1,055	9.4%
諏訪	1,140	10.1%
上伊那	1,059	9.4%
南信州	931	8.3%
木曾	162	1.4%
松本	2,102	18.7%
北アルプス	352	3.1%
長野	2,577	22.9%
北信	788	7.0%
県外	75	0.7%
答えたくない	30	0.3%
合計	11,257	100.0%

## 【県が行っている新型コロナウイルス感染症対策について】

長野県では、県独自の感染警戒レベル、医療アラートの運用及び感染対策強化期間の設定などにより感染拡大防止のための対策を行ってきました。これまでの対策の認知度や、県の対策を受けて県民の方が心がけたことなど、これまでの対策の振り返りと今後の対策の参考とするため、以下についてお伺いします。

### ◎ 感染警戒レベルについて

Q1：県では10の広域圏域ごとに感染警戒レベルを定め、注意を働きかけていることをご存じですか。

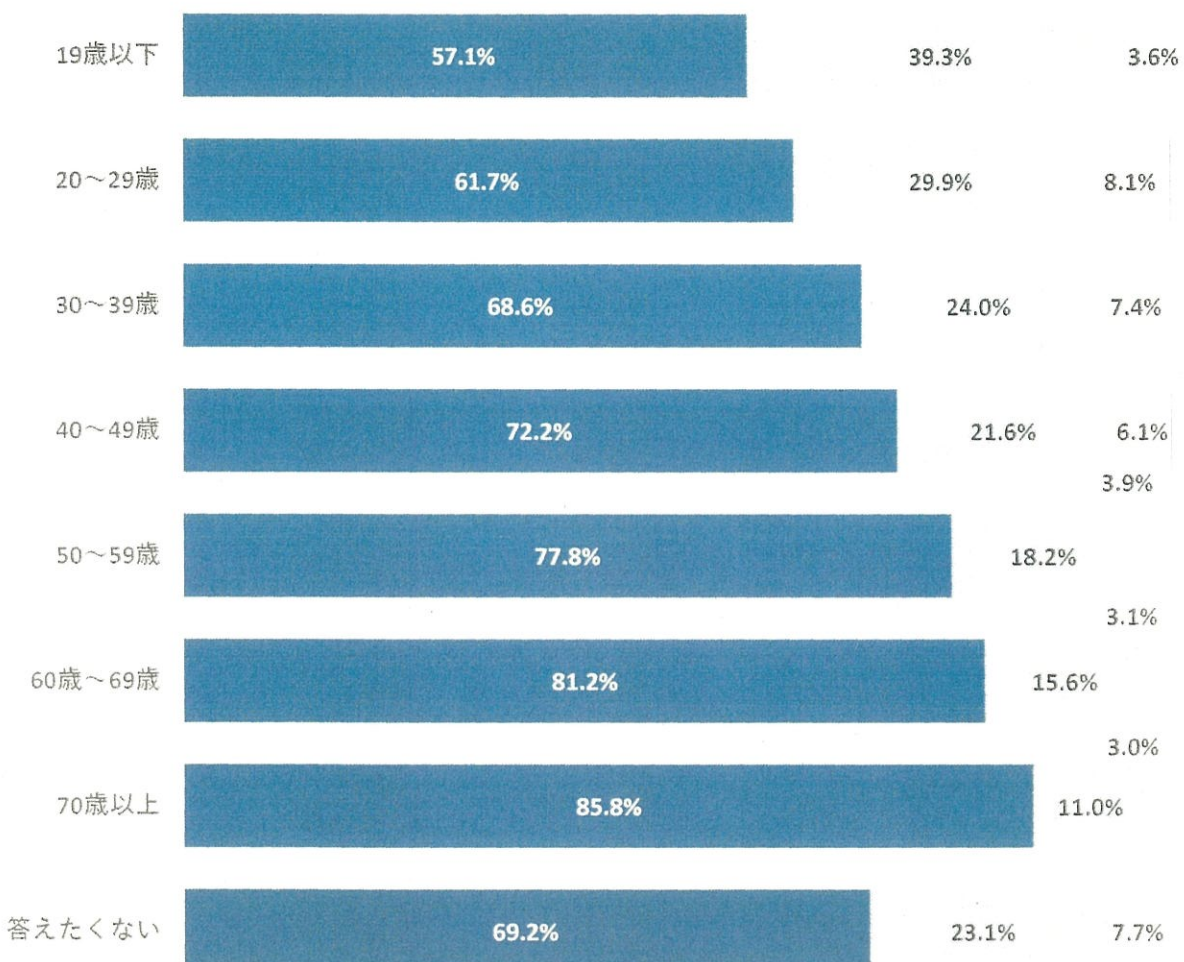
- ◎ 全体では、7割超が「知っているし、働きかけに従って行動している」と回答している。
- ◎ 年代が高くなるにつれて、「知っているし、働きかけに従って行動している」の回答割合が高くなっており、60代及び70代以上では8割を超えている。
- ※ 下線部分は「第6派の発生状況と対策の振り返り」本編において引用（以下同じ）

- 知っているし、働きかけに従って行動している
- 知っているが、働きかけどおりには行動できないときがある  
感染警戒レベルを聞いたことはあるが、よく分からない
- 感染警戒レベルは聞いたことがない

### ■全体



### ■年代別





◎ 感染警戒レベルの基準改正に係る状況認識について

県では3月29日及び5月23日に感染警戒レベルの基準を見直し、新規陽性者数との関係でみれば、これまでより対策を緩めることとしました。

Q2：3月29日の基準見直しでは、引上げ基準の新規陽性者数を緩和するとともに、例えば、感染警戒レベル5であっても、病床のひっ迫度を示す医療アラートのうち「医療特別警報」・「医療非常事態宣言」が未発出であれば、強い対策は行わないこととしました。これを受けて、あなたの「感染警戒レベル5」の状況に対する認識はどう変わりましたか。

◎ 全体では、「認識は変わらなかった」との回答が5割弱、「どちらかと言えば「これまでより警戒を緩めてもいい状況」という認識に変わった」との回答が4割弱となっている。

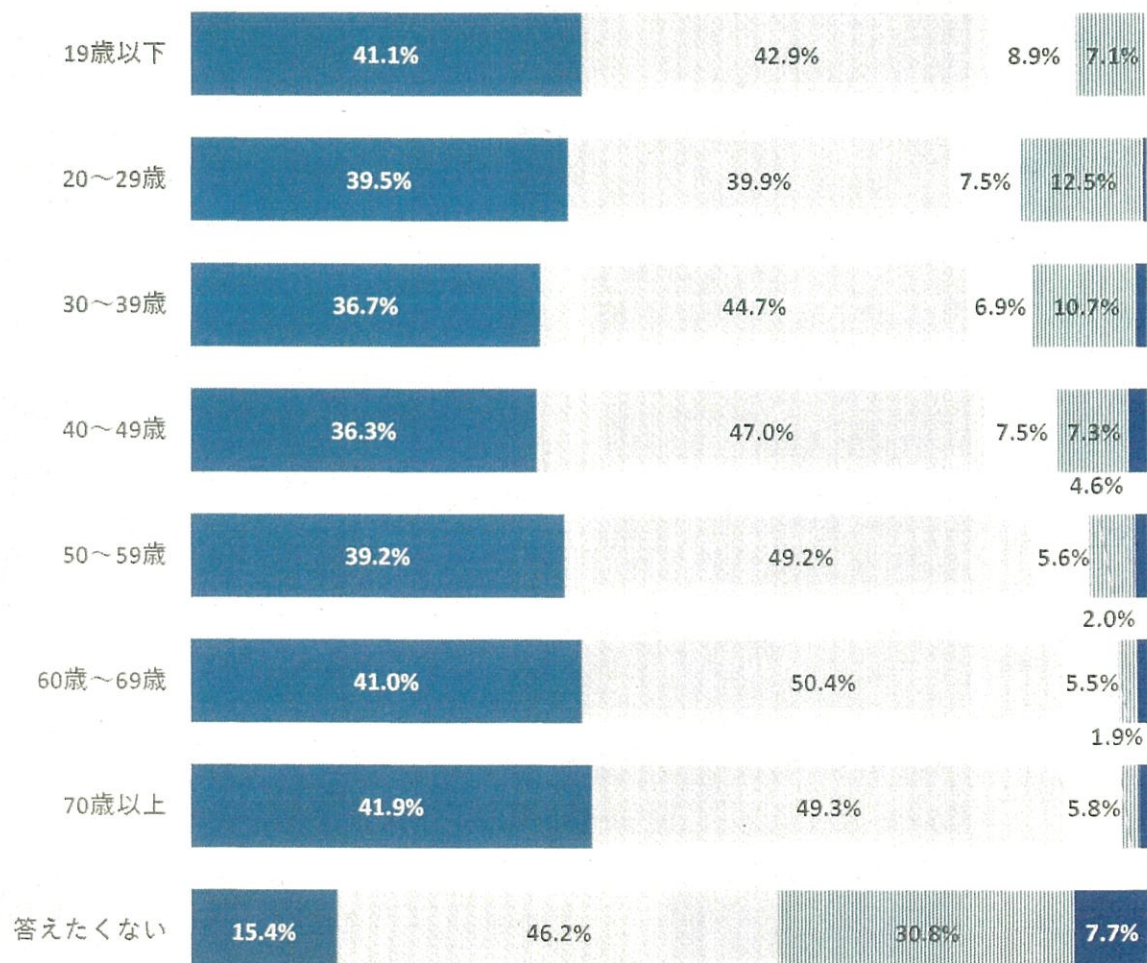
◎ 年代別では、20代及び30代の1割超が「基準の見直しがあったことを知らない」と回答している。

- どちらかと言えば「これまでより警戒を緩めてもいい状況」という認識に変わった
- 認識は変わらなかった
- どちらかと言えば「これまでより警戒を強めるべき状況」という認識に変わった
- 基準の見直しがあったことを知らない
- その他

■ 全体



■ 年代別



Q3：5月23日の基準見直しでは、引上げ基準の新規陽性者数を緩和するとともに、医療アラートの発出状況でレベルに上限を設けました。結果として、それまで多くの圏域がレベル5だったところ、全ての圏域をレベル3以下としました。これを受けて、あなたの感染状況に対する認識は変わりましたか。

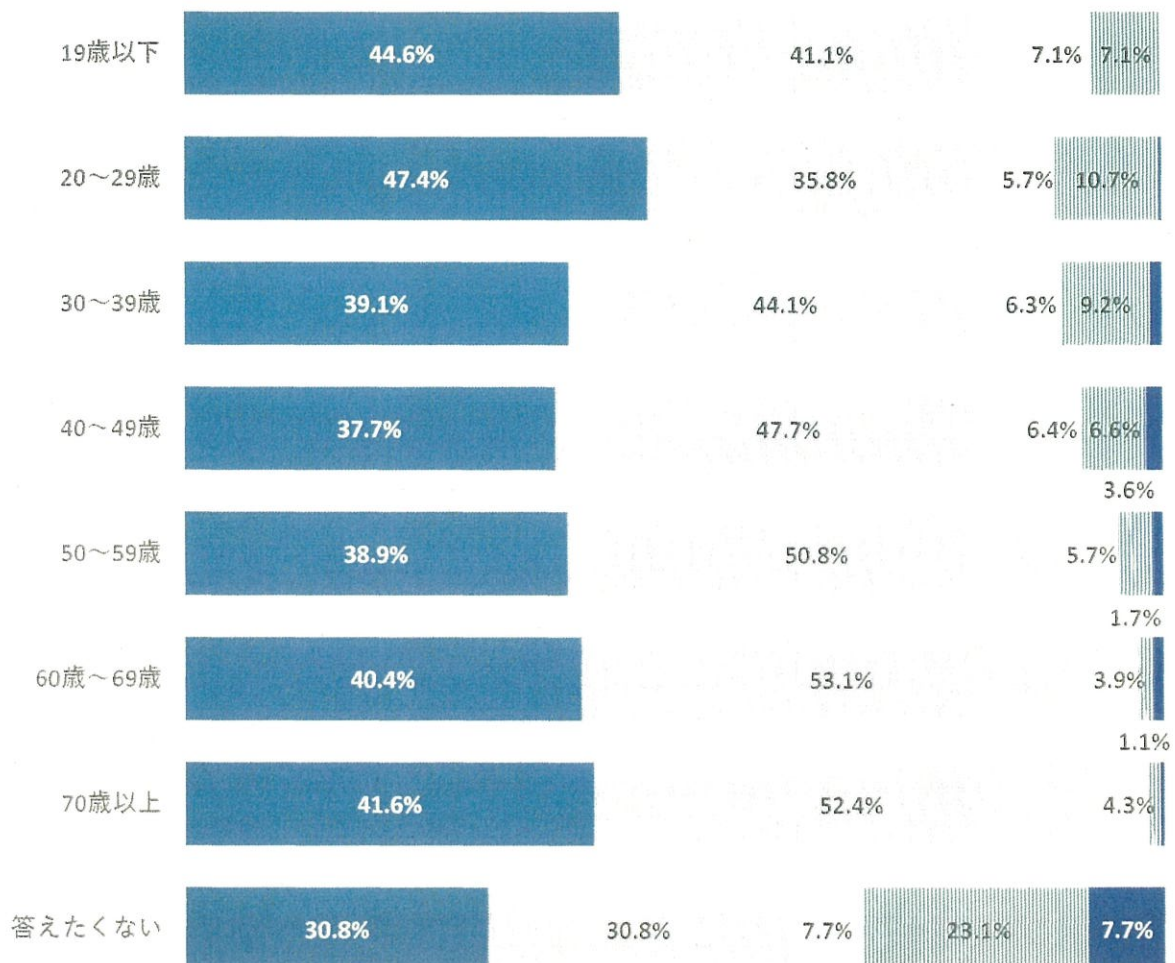
◎ 全体では、「認識は変わらなかった」との回答が5割弱、「これまでより警戒を緩めてもいい状況」という認識に変わった」との回答が4割弱となっている。  
 ◎ 年代別では、10代以下及び20代で「これまでより警戒を緩めてもいい状況」という認識に変わった」との回答の方が、「認識は変わらなかった」との回答より多い。

- 「これまでより警戒を緩めてもいい状況」という認識に変わった
- 認識は変わらなかった
- 「これまでより警戒を強めるべき状況」という認識に変わった
- 基準の見直しがあったことを知らない
- その他

■ 全体



■ 年代別





◎ 感染対策強化期間について

これまで人の移動が増加する時期に感染が拡大してきたことを踏まえ、県では年度末・年度始めの時期を「感染対策強化期間」として設定し、皆さんに様々な感染対策をお願いしました。

Q4：県が3月19日から4月10日までを「感染対策強化期間」として、様々な感染対策をお願いしたことについてご存じでしたか。

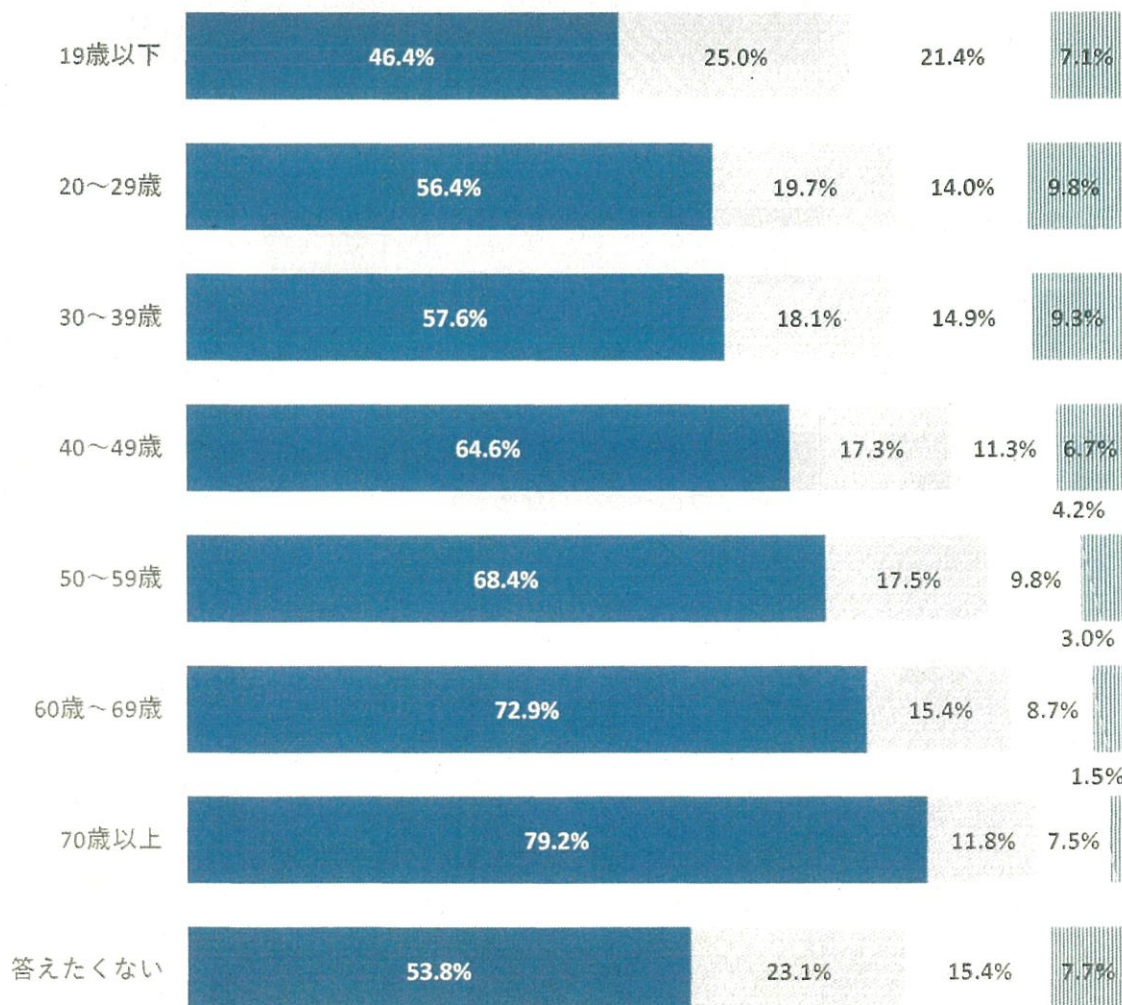
◎ 全体では、6割超が「知っていたし、お願いどおりに行動した」と回答している。  
 ◎ 年代が高くなるにつれて、「知っていたし、お願いどおりに行動した」の回答割合が高くなっており、60代及び70代以上では7割を超えている。

- 知っていたし、お願いどおりに行動した
- 知っていたが、お願いどおりに行動できないときがあった
- 「感染対策強化期間」を聞いたことはあるが、よく分からなかった
- 「感染対策強化期間」を聞いたことがない

■全体



■年代別

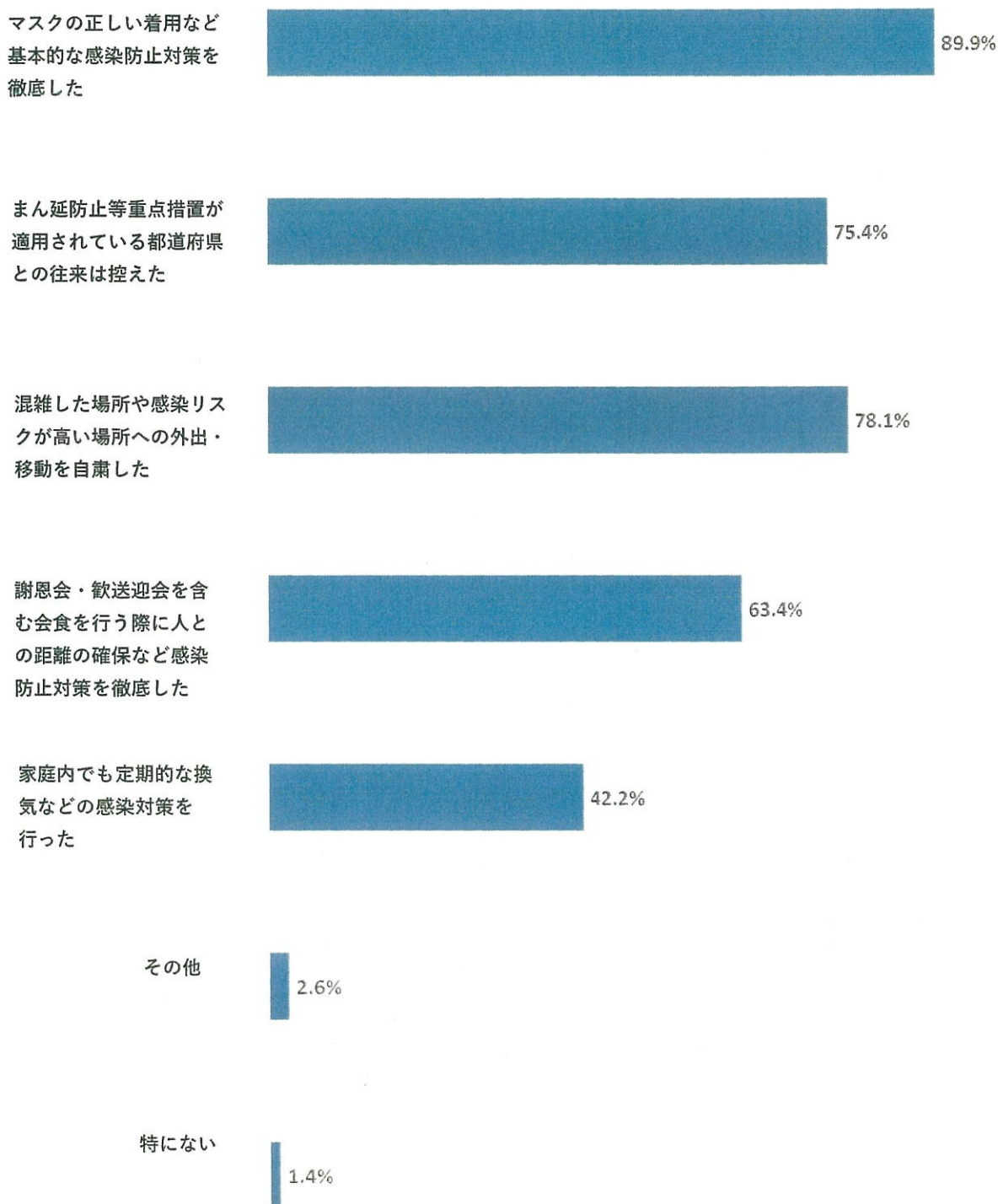


Q5：「感染対策強化期間」における県からのお願いを受けて、実際にあなたが心がけた行動について、あてはまるものを全て選択してください。

◎ 全体では、「マスクの正しい着用など基本的な感染防止対策を徹底した」、「混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛した」、「まん延防止等重点措置が適用されている都道府県との往来は控えた」との回答がそれぞれ7割超で、高い割合となっている一方、「家庭内でも定期的な換気などの感染対策を行った」との回答は4割程度にとどまっている。

◎ 年代別では、10代以下及び20代で「混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛した」、「まん延防止等重点措置が適用されている都道府県との往来は控えた」との回答がそれぞれ7割未満であり、他の年代と比べ割合が低くなっている。

■全体

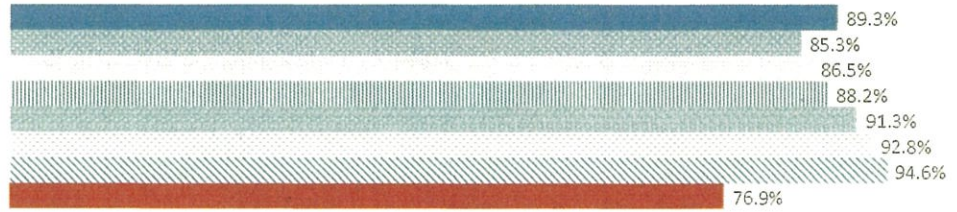




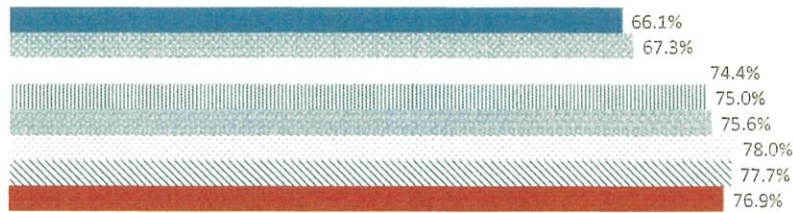
■年代別



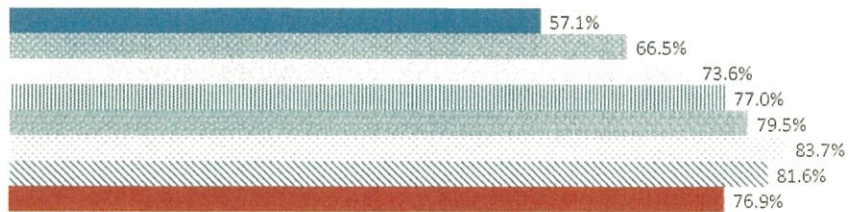
マスクの正しい着用など  
 基本的な感染防止対策を  
 徹底した



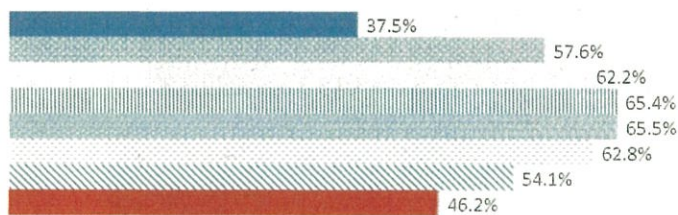
まん延防止等重点措置が  
 適用されている都道府県  
 との往来は控えた



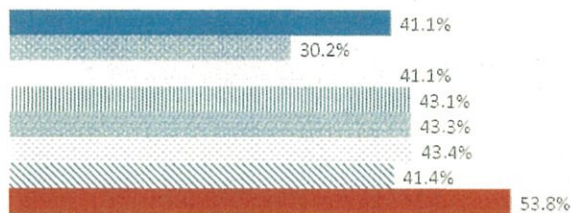
混雑した場所や感染リス  
 クが高い場所への外出・  
 移動を自粛した



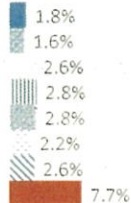
謝恩会・歓送迎会を含  
 む会食を行う際に人と  
 の距離の確保など感染  
 防止対策を徹底した



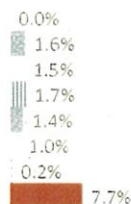
家庭内でも定期的な換  
 気などの感染対策を  
 行った



その他



特にない



◎ 医療警報の発出について

県では確保病床使用率のさらなる上昇を抑えることなどを目標として、1月13日から3月28日までの間及び4月20日から5月22日までの間、それぞれ「医療警報」を発出し、皆さんに様々な感染対策をお願いしました。

Q6：県が医療アラートとして「医療警報」を発出し、様々な感染対策をお願いしたことをご存じでしたか。

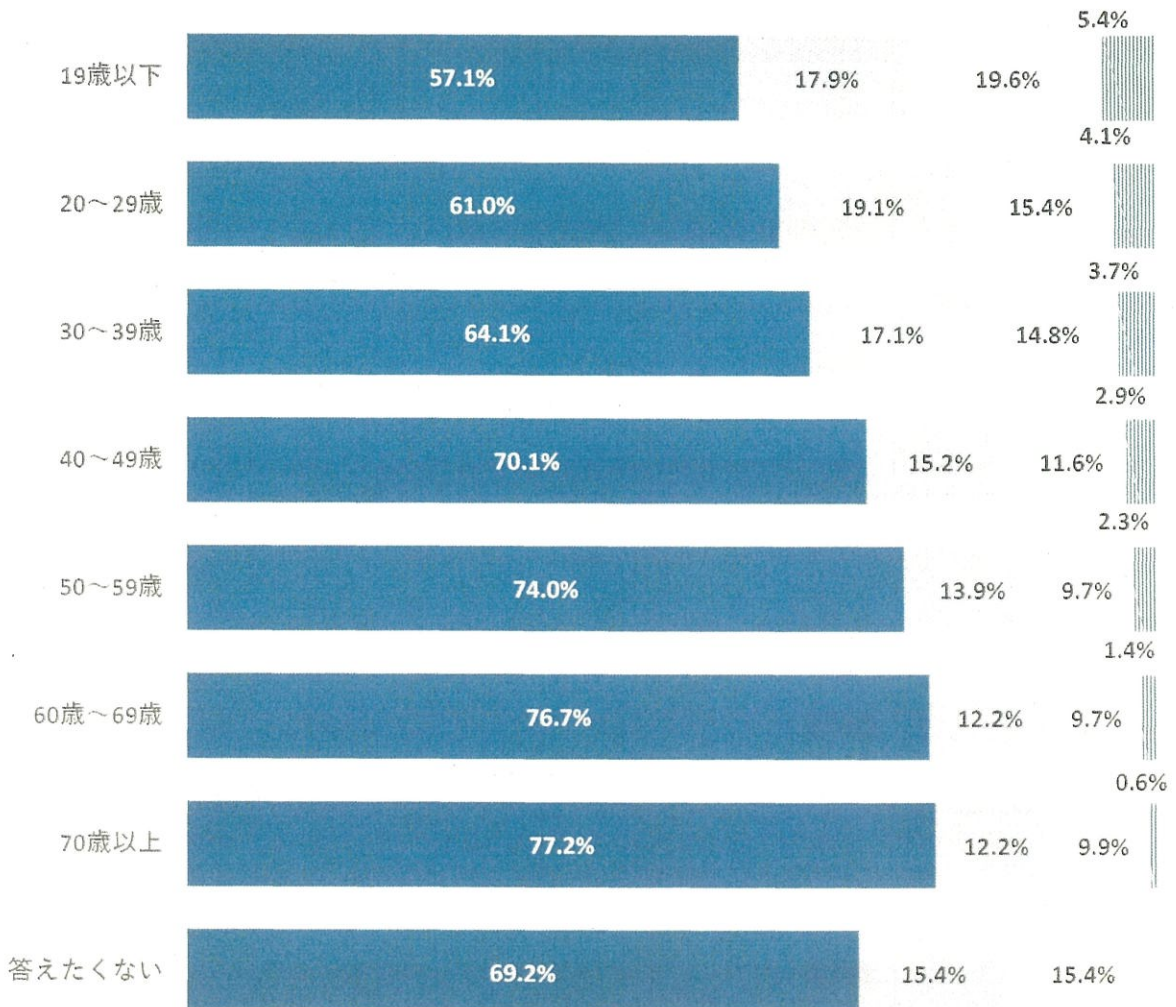
- ◎ 全体では、7割超が「知っていたし、お願いどおり行動した」と回答している。
- ◎ 年代が高くなるにつれて、「知っていたし、お願いどおり行動した」の割合が高くなっている。

- 知っていたし、お願いどおり行動した
- 知っていたが、お願いどおりには行動できないときがあった
- 「医療警報」を聞いたことはあったが、内容がよく分からなかった
- 名称も内容も知らない

■ 全体



■ 年代別



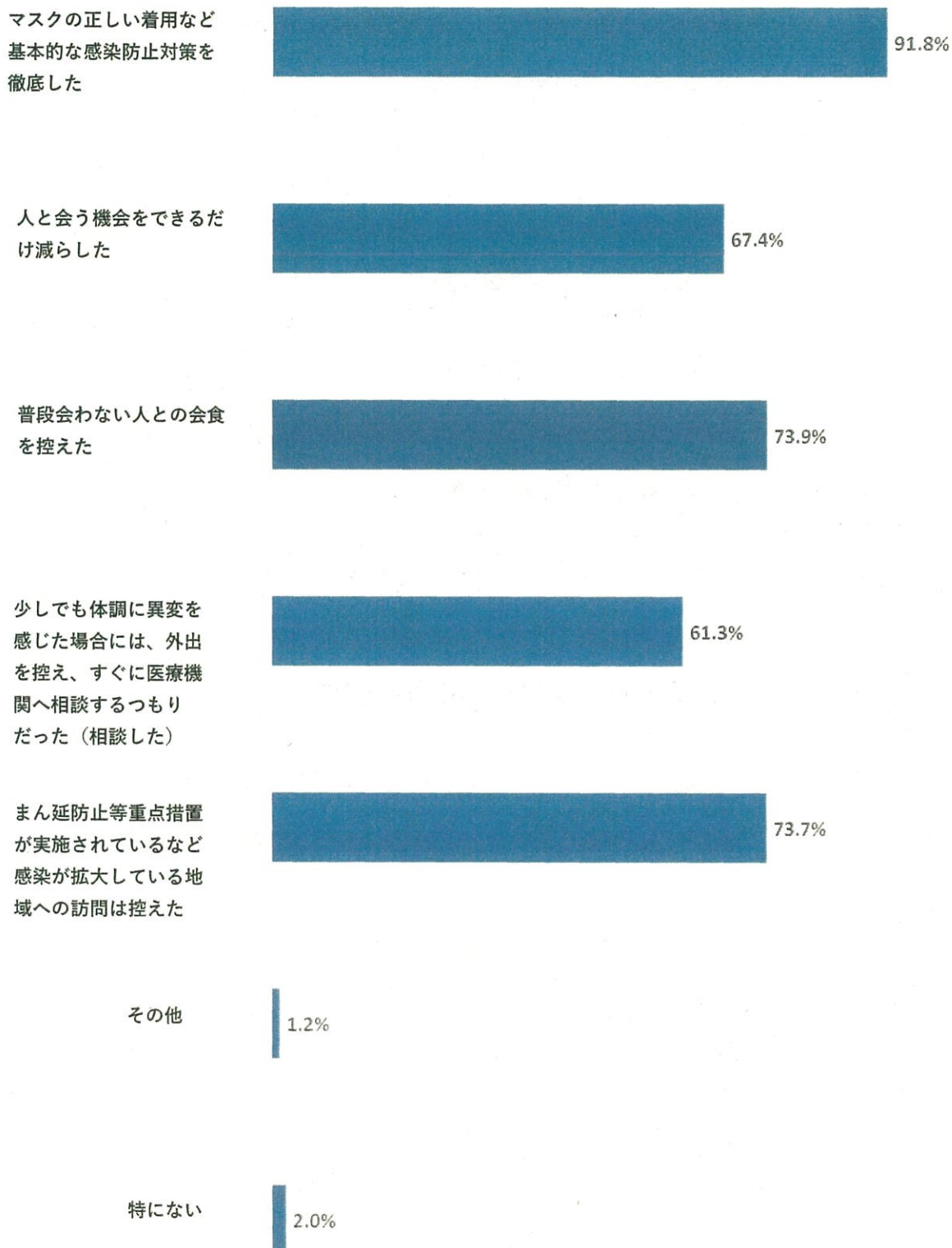


Q7：「医療警報」の発出を受けて、実際にあなたが心がけた行動は何ですか。あてはまるものを全て選択してください。

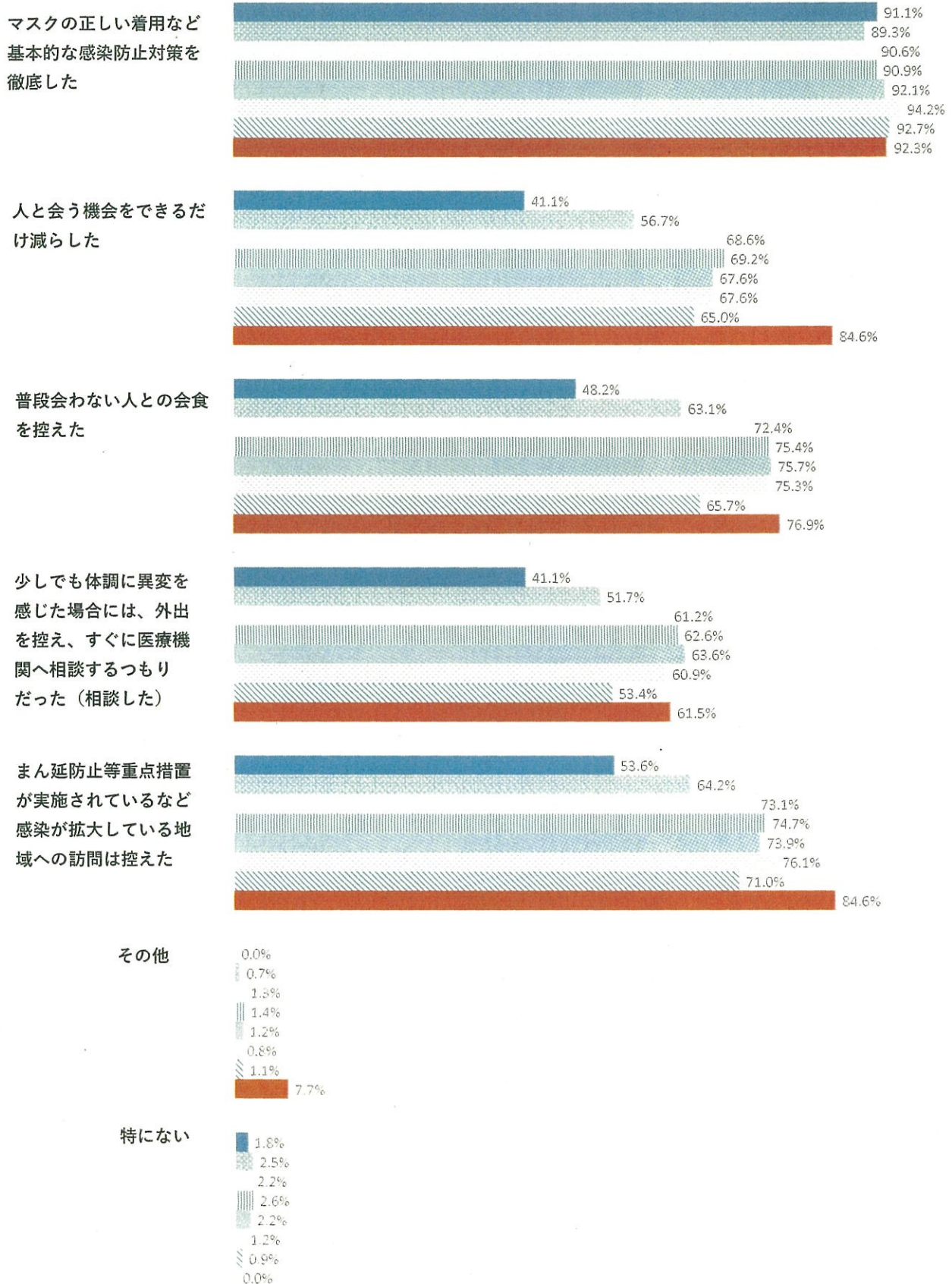
◎ 全体では、「マスクの正しい着用など基本的な感染防止対策を徹底した」、「普段合わない人との会食を控えた」、「まん延防止等重点措置が実施されているなど感染が拡大している地域への訪問は控えた」との回答がそれぞれ7割超で、高い割合となっている。

◎ 年代別では、10代以下及び20代で「普段合わない人との会食を控えた」、「まん延防止等重点措置が実施されているなど感染が拡大している地域への訪問は控えた」との回答がそれぞれ7割未満であり、他の年代と比べ割合が低くなっている。

■全体



■年代別





◎ まん延防止等重点措置について

新規陽性者数が過去に経験のない規模で増加し、確保病床使用率が上昇している状況などを踏まえ、県では1月27日から3月6日までの間「まん延防止等重点措置」を講じ、皆さんに様々な感染対策をお願いしました。

Q8：県が1月27日から3月6日までの間、「まん延防止等重点措置」を講じ、様々な感染対策をお願いしたことについてご存じでしたか。

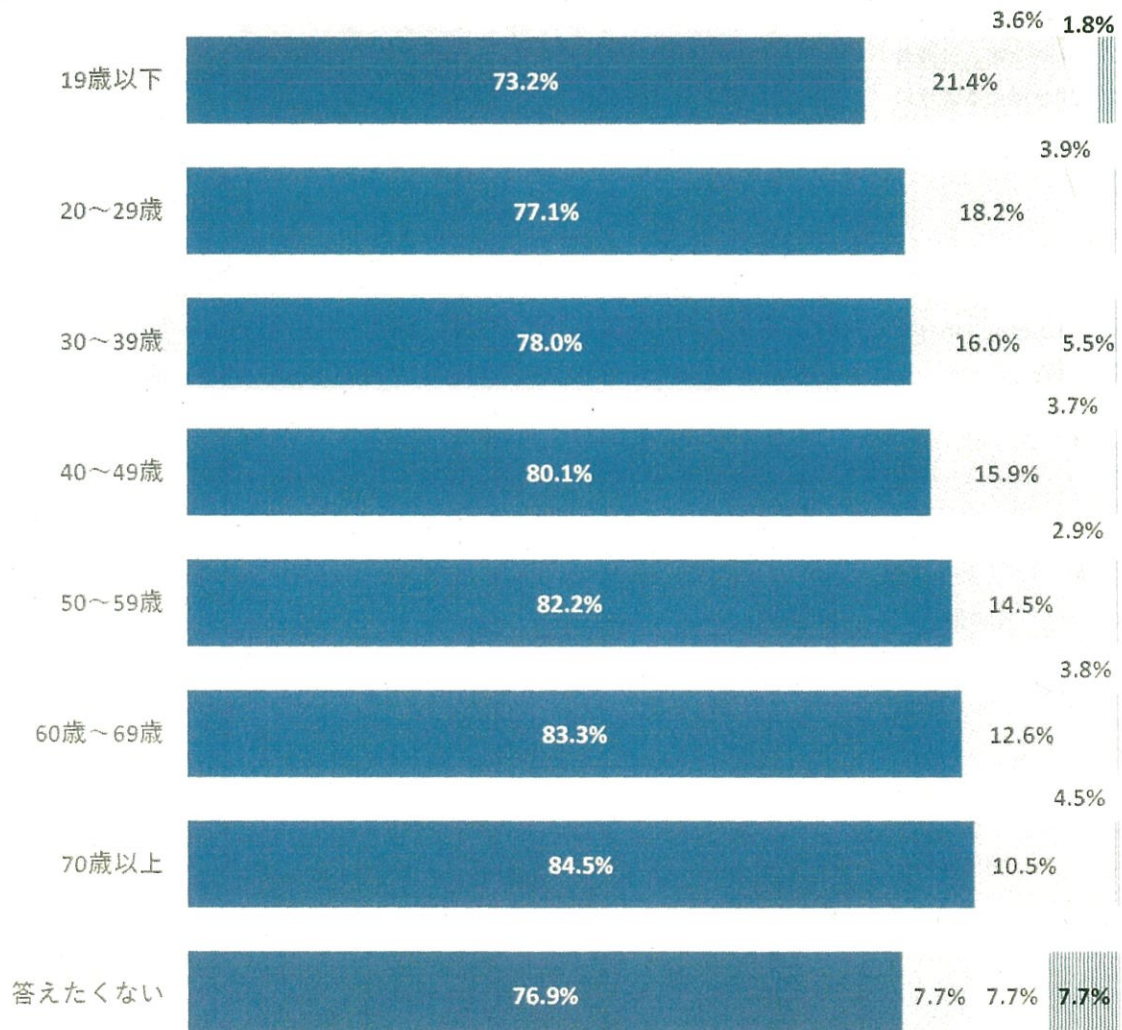
◎ 全体では、8割超が「知っていたし、お願いどおり行動した」と回答している。  
 ◎ 「知っていたし、お願いどおり行動した」との回答はすべての年代で7割を超えているが、10代以下、20代及び30代ではやや低くなっている。

- 知っていたし、お願いどおり行動した
- 知っていたが、お願いどおりには行動できないときがあった
- 「まん延防止等重点措置」を聞いたことはあるが、よく分からなかった
- 「まん延防止等重点措置」を聞いたことがない

■全体



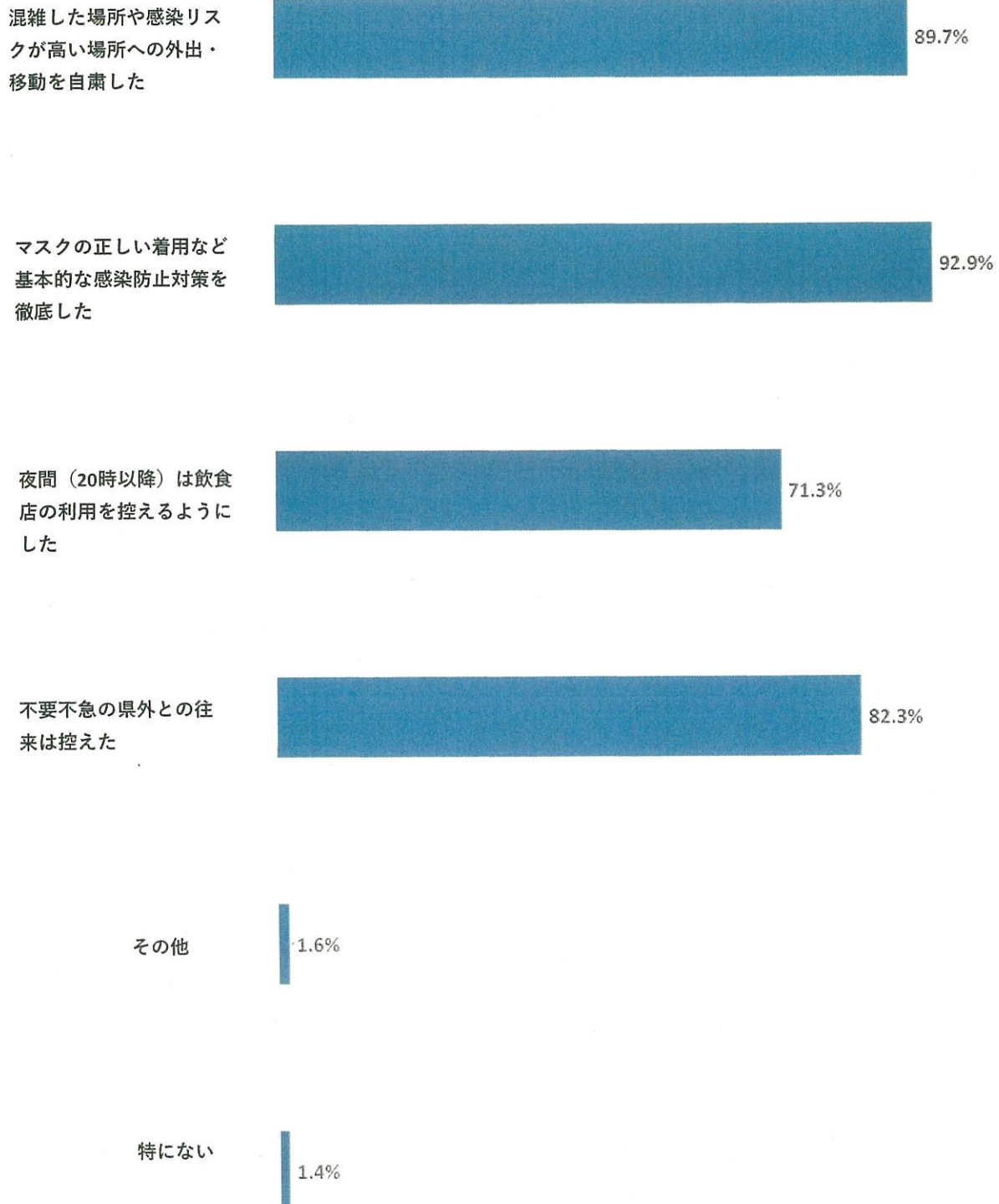
■年代別



Q9：1月27日から3月6日までの「まん延防止等重点措置」適用に伴う県からのお願いを受けて、実際にあなたが心がけた行動について、あてはまるものを全て選択してください。

◎ 全体では、「マスクの正しい着用など基本的な感染防止対策を徹底した」、「混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛した」、「不要不急の県外との往来は控えた」との回答がそれぞれ8割超で、高い割合となっている。  
◎ すべての年代で「マスクの正しい着用など基本的な感染防止対策を徹底した」、「混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛した」との回答割合が75%を超えており、年代を問わず高い水準となっている。

■全体

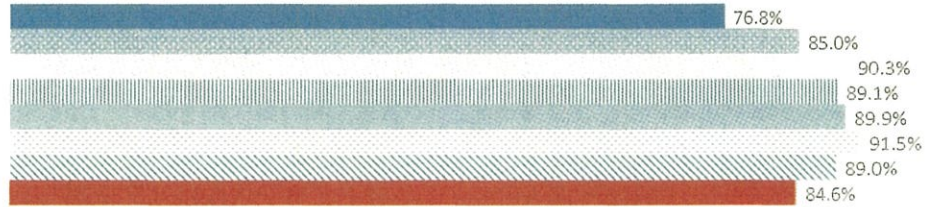




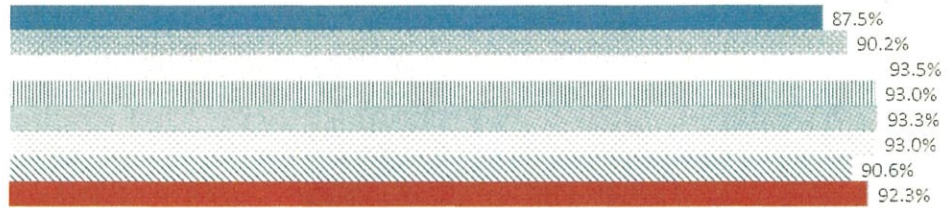
■年代別



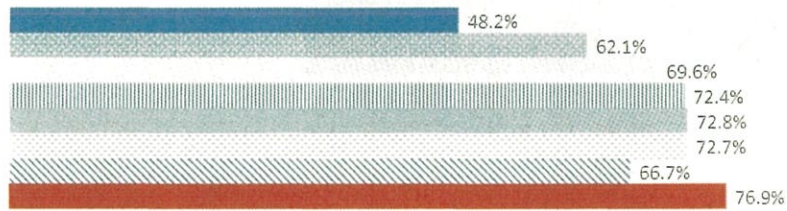
混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛した



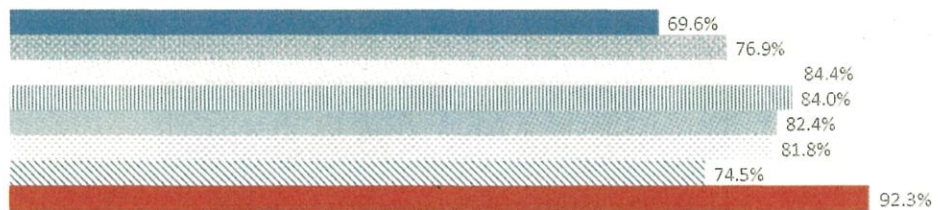
マスクの正しい着用など基本的な感染防止対策を徹底した



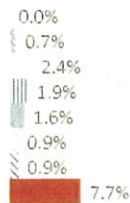
夜間（20時以降）は飲食店の利用を控えるようにした



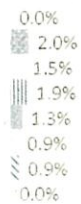
不要不急の県外との往来は控えた



その他



特になし



Q10：県が1月27日から「まん延防止等重点措置」を講じたことを受けて、あなたの感染対策にかかる意識は変わりましたか。

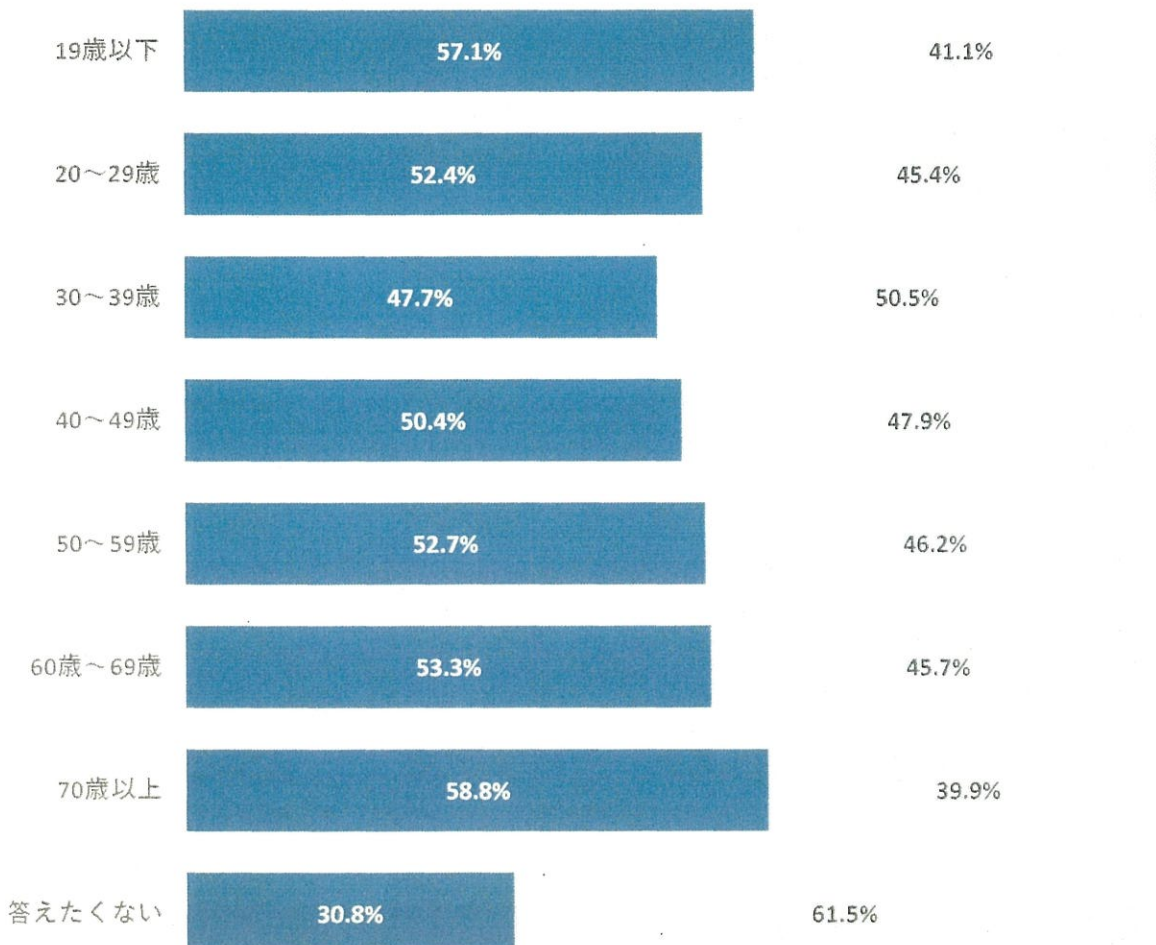
◎ 全体では、「より強く意識するようになった」及び「意識は変わらなかった」との回答がいずれも5割程度だが、「より強く意識するようになった」との回答の方がやや多い。  
 ◎ 年代別では、30代で「より強く意識するようになった」との回答割合が比較的 low、 「意識は変わらなかった」との回答の方が「より強く意識するようになった」との回答より多い。

■ より強く意識するようになった      □ 意識は変わらなかった      ○ 意識を緩めた      ▨ その他

■ 全体



■ 年代別



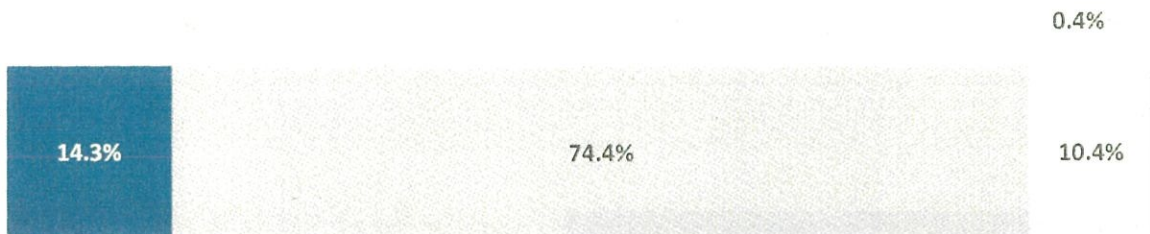


Q11：県が3月6日をもって「まん延防止等重点措置」を終了したことを受けて、あなたの感染対策にかかる意識は変わりましたか。

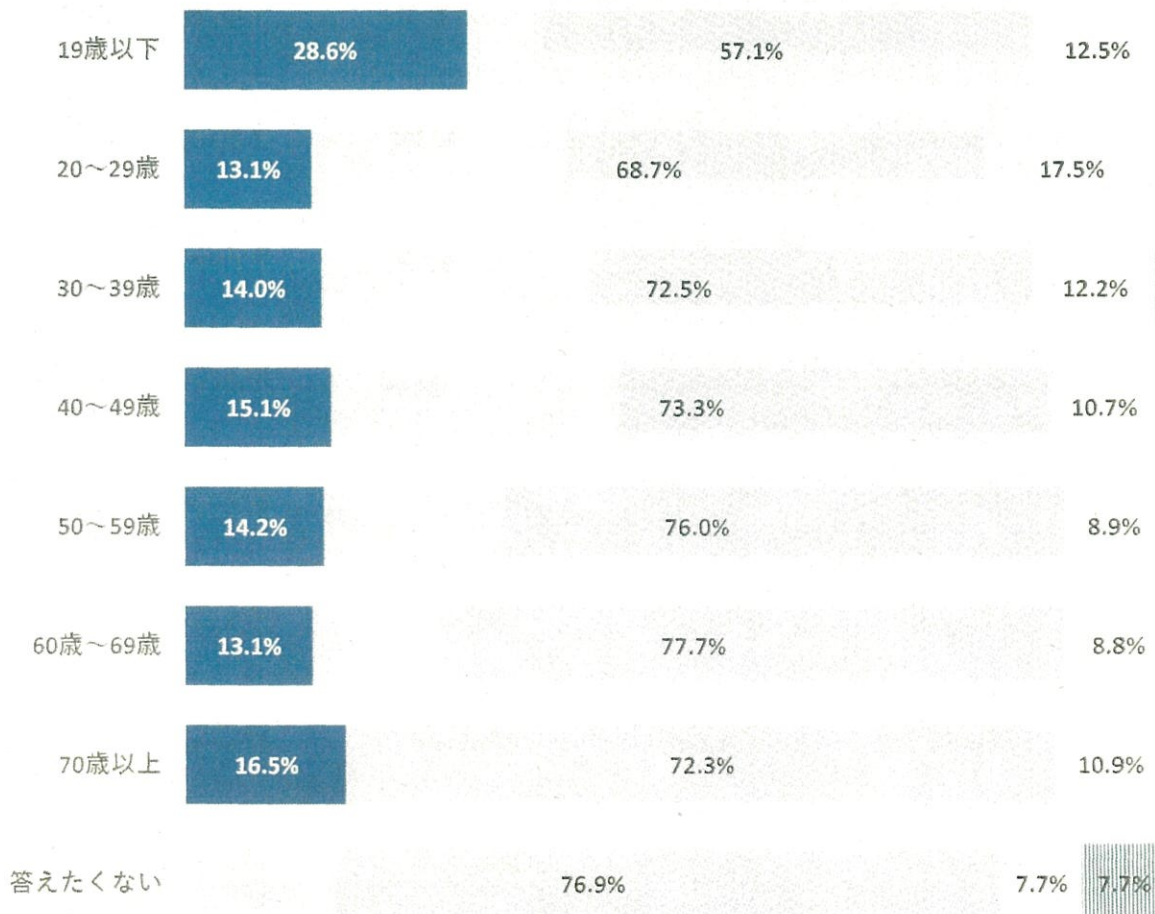
◎ 全体では、7割超が「意識は変わらなかった」と回答しており、「意識を緩めた」との回答は1割程度に留まっている。  
 ◎ 年代別では、10代以下、20代及び30代で「意識を緩めた」との回答割合が比較的高くなっている。また、10代以下では3割弱が「より強く意識するようになった」と回答している。

■ より強く意識するようになった    意識は変わらなかった    意識を緩めた    ▨ その他

■ 全体



■ 年代別



◎ マスク着用についての目安について

国からマスク着用に関する考え方が示されたことを受け、県では「マスク着用についての目安」（6月3日付け、6月7日改定）を県民の皆さんにお示しました。

Q12：県が「マスク着用についての目安」を示したことについてご存じですか。

◎ 全体では、5割超が「知っているし、目安を参考にマスクの着脱を判断している」と回答している。  
 ◎ 年代別では、70代以上で「知っているし、目安を参考にマスクの着脱を判断している」との回答割合が比較的高く、7割を超えている。

■ 知っているし、目安を参考にマスクの着脱を判断している

知っているが、目安を参考としたマスクの着脱はできないときがある（又はするつもりはない）

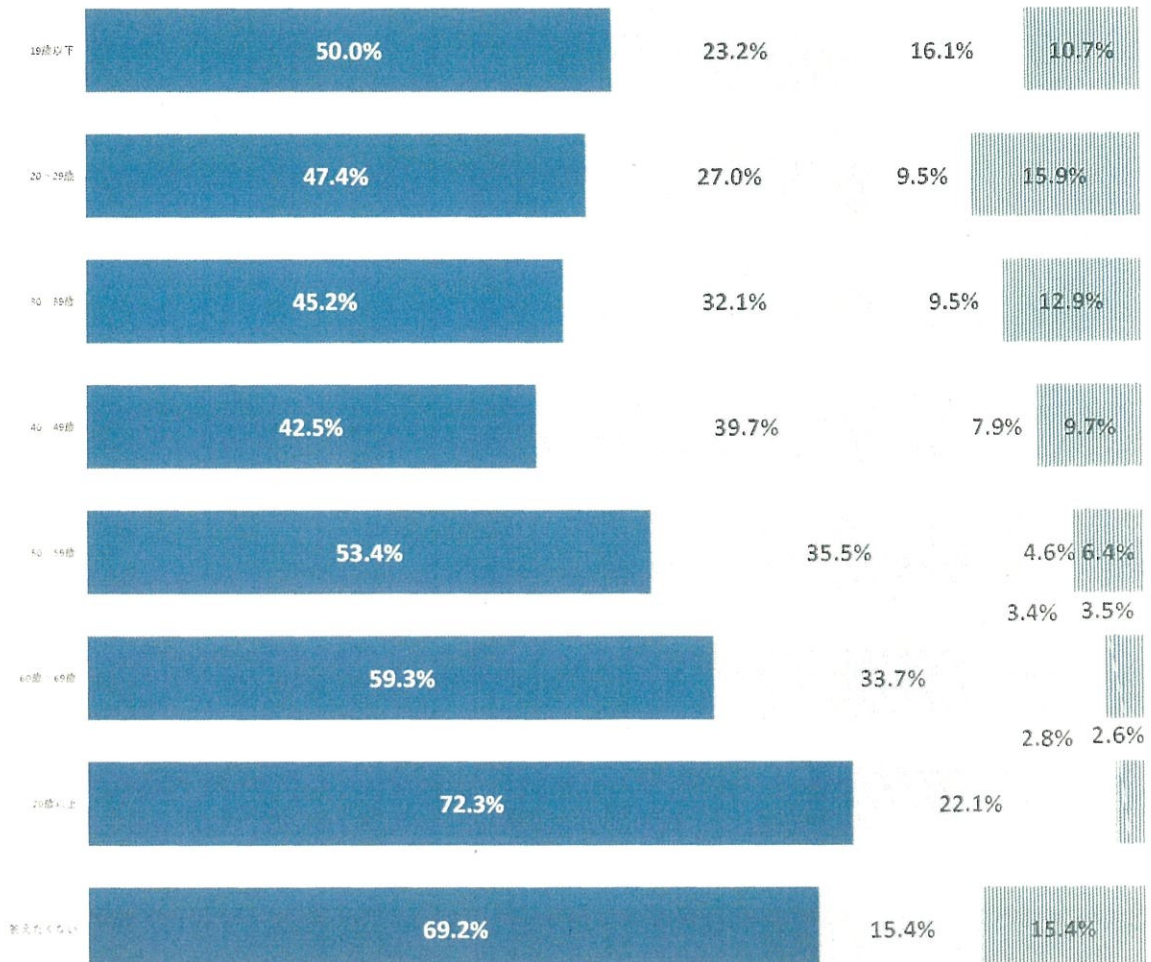
知っているが、内容はよく分からない

■ 知らない

■ 全体



■ 年代別



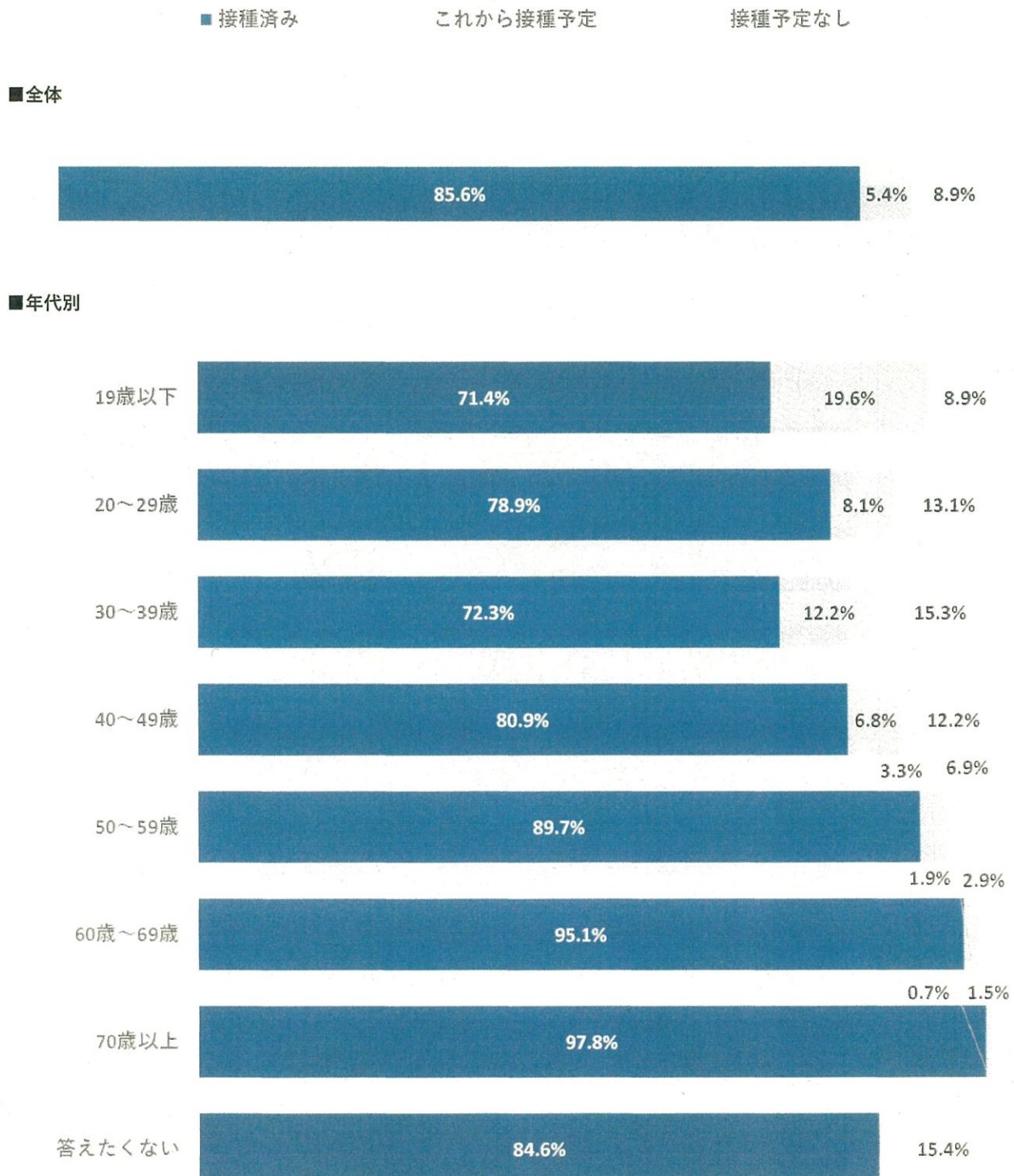


## 【ワクチン接種関係について】

新型コロナワクチン接種については、3回目接種に加え、重症化予防を目的とした4回目接種も開始されました。そこで、ワクチン接種の意向を把握し、今後の接種促進に向けての参考とするため、以下についてお伺いします。

Q13：あなたの新型コロナワクチンの3回目接種の状況について、あてはまるものを選択してください。

- ◎ 全体では、「接種済み」、「これから接種予定」との回答をあわせると9割以上となっている。
- ◎ 年代別では、20代、30代及び40代で「接種予定なし」との回答が1割を超え、比較的高くなっている。



Q14：問13で「接種予定なし」を選ばれた方にお伺いします。

3回目接種では、これまでのファイザー及びモデルナ社製ワクチンのほか、副反応の発生頻度が比較的少ないとされている「武田社ワクチン（ノバックス）」の使用が新たに始まりました。こうした状況も踏まえ、あなたの3回目接種の意向について、あてはまるものを選択してください。

◎ 3回目接種の予定がない方の75.4%はワクチンの種類に関わらず接種の意向がないが、20代では武田社ワクチン（ノバックス）であれば接種をしたい又は接種を検討したいとの意向が比較的高くなっている。

■ どのワクチンであっても接種するつもりはない

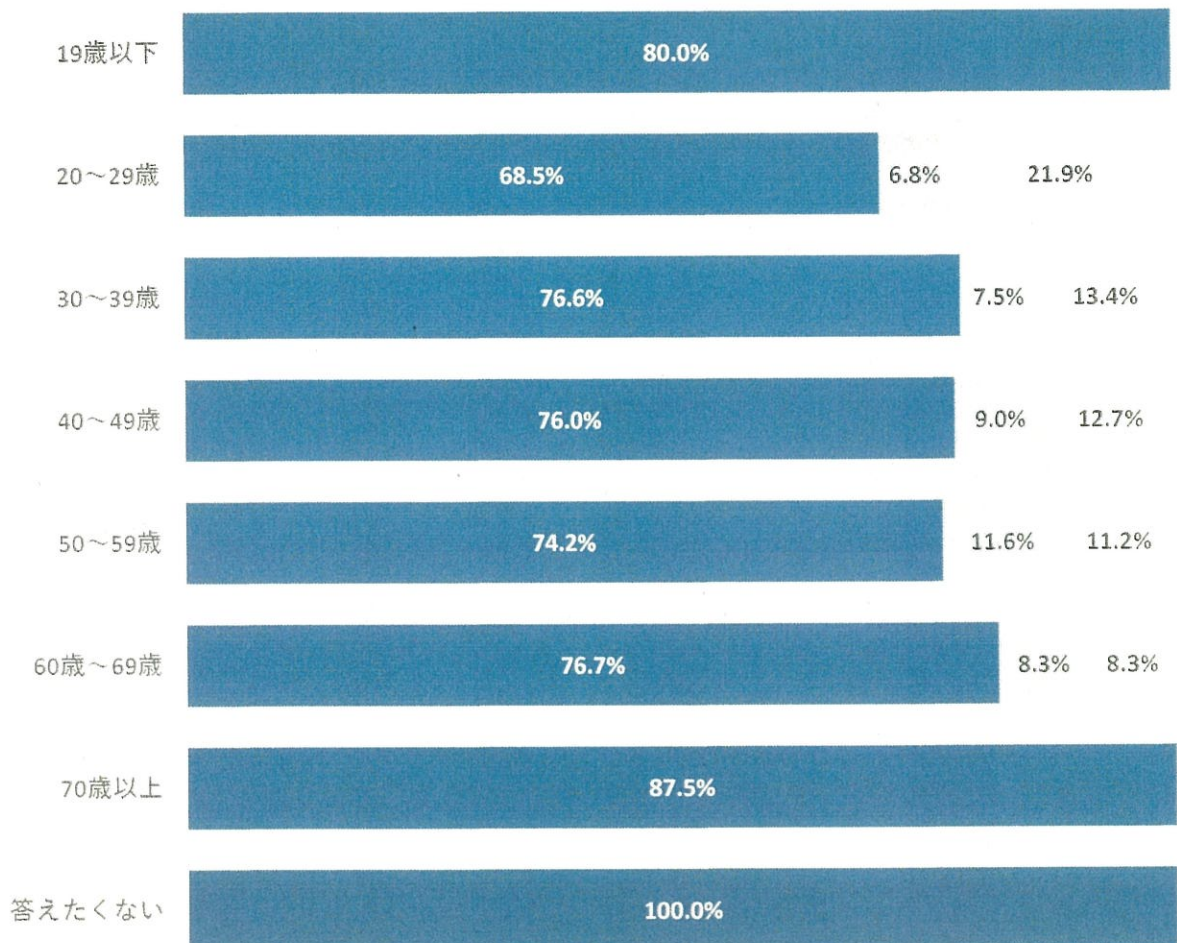
武田社ワクチン（ノバックス）であれば接種する

武田社ワクチン（ノバックス）のことを知らなかったので、接種を検討してみたい

■ 全体



■ 年代別





Q15：問13で「接種済み」又は「これから接種予定」を選ばれた方にお伺いします。

4回目接種の意向について、あてはまるものを選択してください。

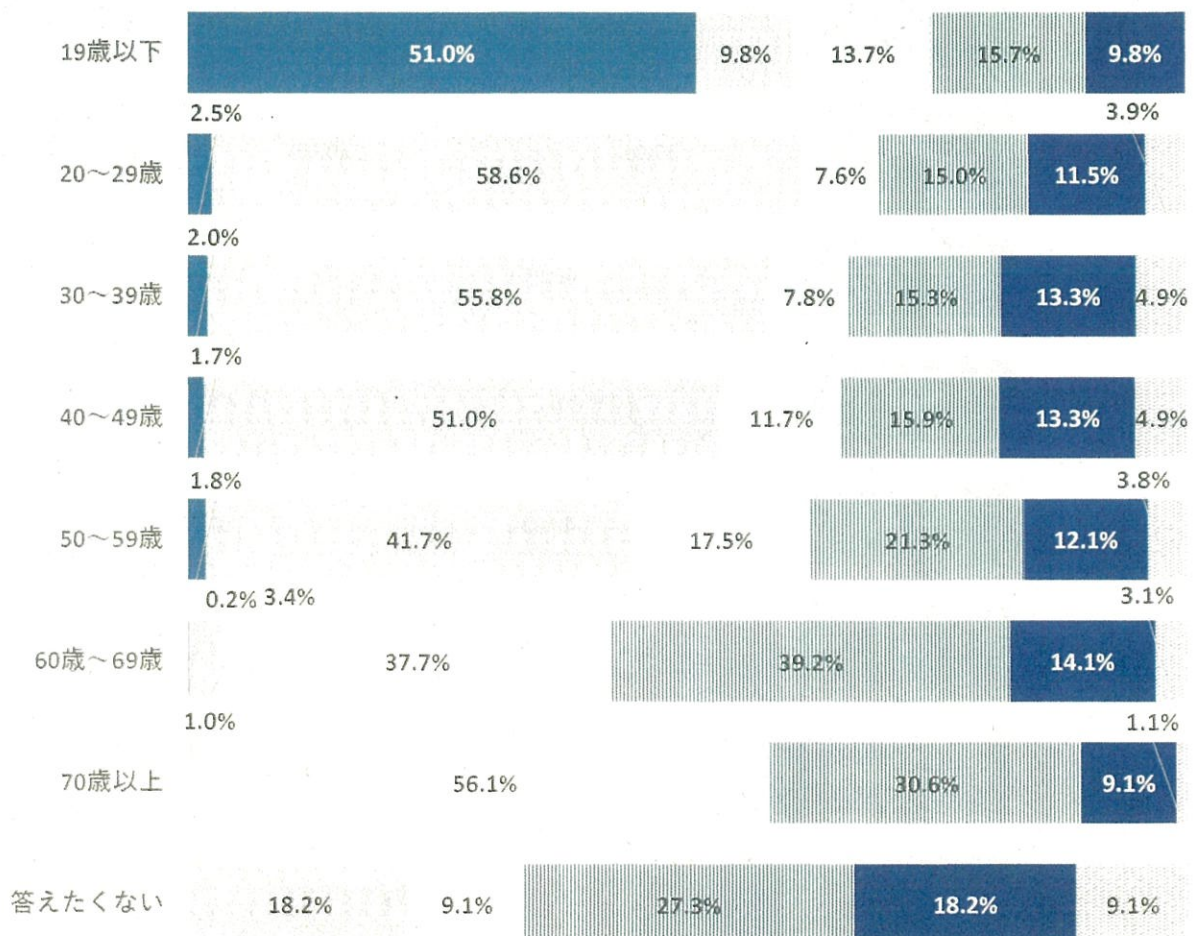
◎年代が上がるほど接種の意向がある方が多く、60歳以上の方では概ね8割が接種の意向がある。

- 4回目接種の対象ではない（17歳以下）
- 4回目接種の対象ではない（基礎疾患等を有しない）
- ぜひ接種したい
- たぶん接種すると思う
- 接種するか迷っている
- 接種しない

■全体



■年代別



Q16：問15で「ぜひ接種したい」又は「たぶん接種すると思う」を選ばれた方にお伺いします。  
 接種を希望する理由を選択してください

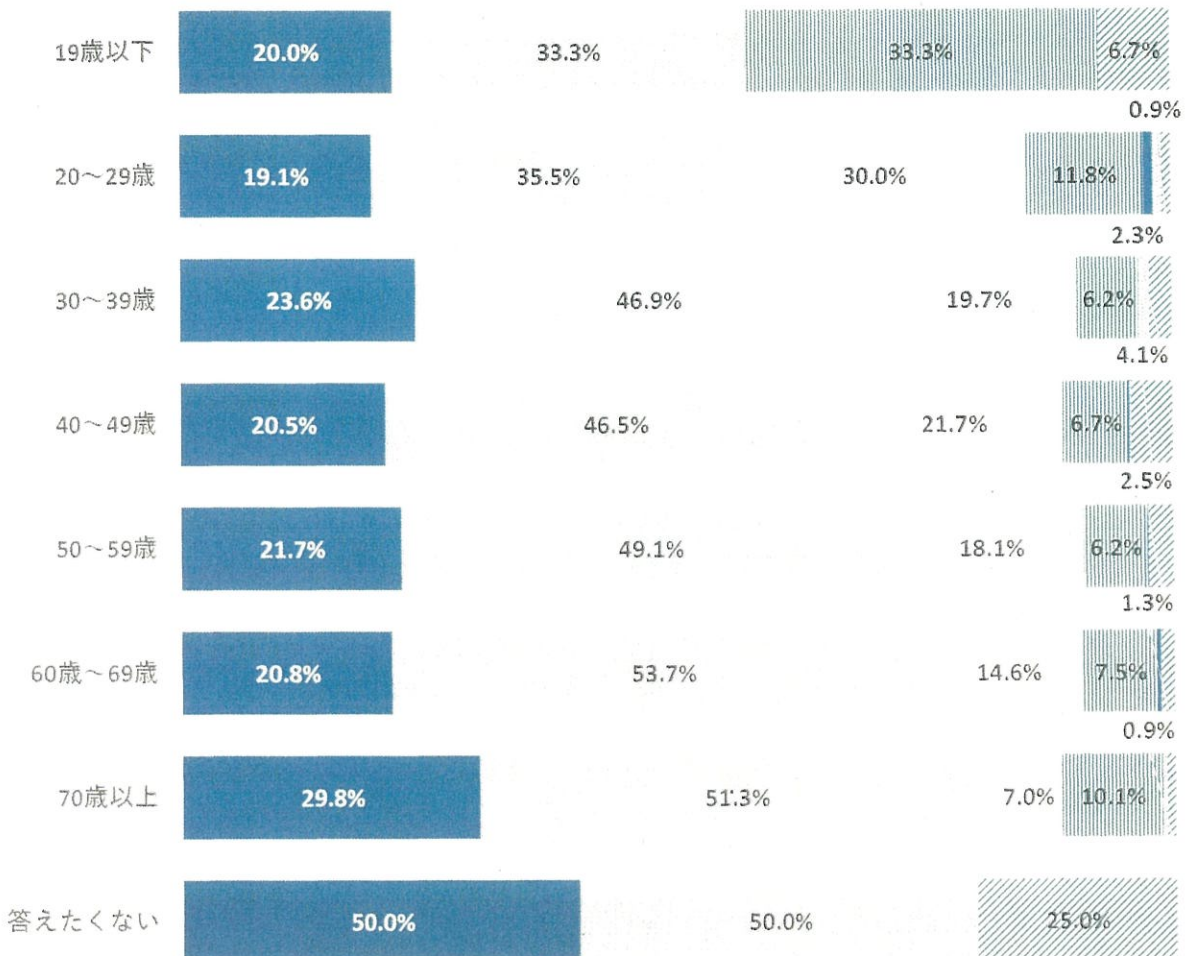
◎ 全体の半数が「感染したとき重症化したくないから」を理由として回答しているが、20代、30代及び40代では「仕事などの関係で必要だから」との回答割合が比較的高くなっている。

- 感染したくないから
- 仕事などの関係で必要だから
- 家族や友人等に勧められたから
- ◇ その他
- 感染したとき重症化したくないから
- ▨ 安心して出かけたいためから
- ◇ みんなが接種しているから

■ 全体： ※以下、問13で③を選択した者の回答分は除いて集計（Q17、Q18も同様）



■ 年代別





Q17：問15で「ぜひ接種したい」又は「たぶん接種すると思う」を選ばれた方にお伺いします。  
 接種を希望するワクチンの種類を選択してください。

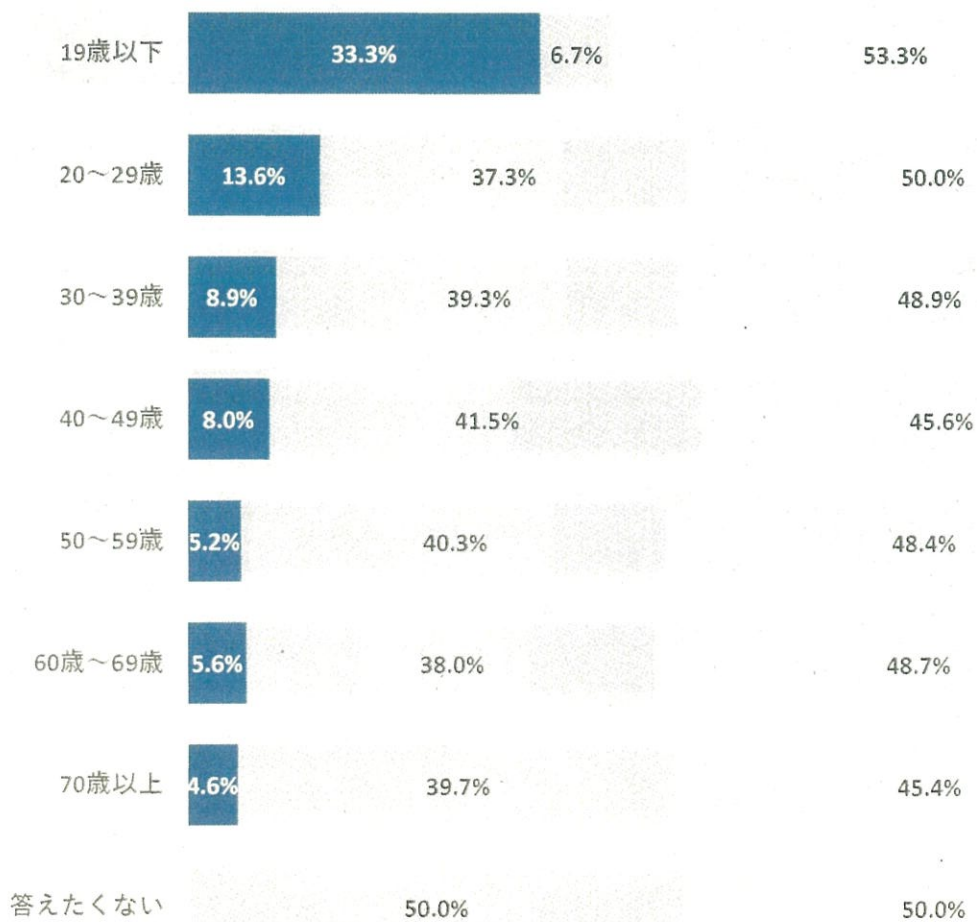
◎ すべての年代において、およそ半数は「どちらでもよい」と回答しているが、特定のワクチンを希望する方の中では全体的にファイザー社製ワクチンの希望の方が多い。

■ モデルナ社製ワクチン      ファイザー社製ワクチン      どちらでもよい

■ 全体



■ 年代別



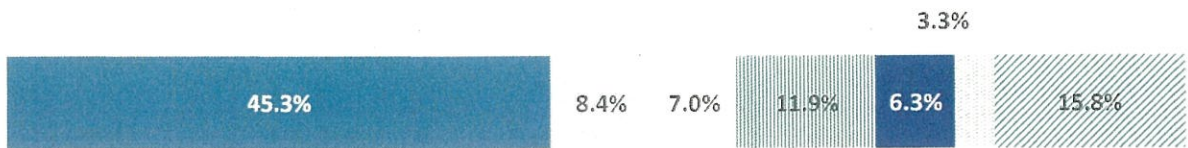
Q18：問15で「接種するか迷っている」又は「接種しない」を選ばれた方にお伺いします。

接種しない、または接種を迷っている理由を選択してください。

◎ 70代以上を除いて、「副反応がづらいから」との回答がそれぞれ4割を超えている。

- 副反応がづらいから
- 効果がないと思うから
- 感染しても重症化しないから
- 3回目の接種から短期間しか経っていないから
- 3回目接種もまだしていないから
- 周りが接種しないと言っているから
- ◇ その他

■全体



■年代別

